

## 令和8年情産協新年会開催

2026（令和8年）2月4日、立春の日、松江エクセルホテル東急で島根県情報産業協会新年会を開催しました。新年会には95名の方が参加。かつてない規模の新年会となりました。

新年会は、井上浩協会代表理事会長の挨拶に続き、来賓の方々が紹介され、代表して、総務省中国総合通信局畠山弘之情報通信連携推進課長、経済産業省中国経済産業局清水保貴デジタル経済課長、そして、島根県議会岩田浩岳農林水産商工委員会委員長に冒頭の挨拶をいただきました。



恒例の講演会では、独立行政法人情報処理通信機構（IPA）平本健二デジタル基盤センター長に「変化の速いデジタル社会に向き合うために」と題した講演をしていただきました。平本氏は、講演で、変化が速いデジタル社会では、チャレンジすることが大きな意味を持つこと、チャレンジは世界を見据えたものである必要があり、それが企

業や地域の持続的発展のベースとなること、能力ある人材を抜擢し、任せることが必要であること、そのような人材の発掘育成のためにコミュニティが有用であることを強調されました。



なお、当日平本氏が使われた資料は、IPAのご厚意により、申し込みにより配布可能です。協会事務局までお問合せください。



1時間半にわたる講演の後、92名参加のもと交流会を開催しました。福光靖協会代表理事副会長の開宴の辞の後、石橋睦郎島根県商工労働部長、山根幸二松江市副市長の挨拶を頂き、馬庭正人しまね産業振興財団代表理事理事長の乾杯の

音頭で開宴しました。





交流会のなかで、東京証券取引所スタンダード市場に新規上場された(株)テラテクノロジー宮本一成代表（協会業務執行理事）を紹介、挨拶を頂きました。



また、昨年12月にIPAと島根県は、DX推進により地域の活性化を進める協定を締結しましたが、その際、尽力いただいたIPA デジタル基盤センター企画部長下出政樹氏（前中国経産局地域経済部長）に挨拶を頂きました。



温かく和やかな時間が瞬く間に過ぎ、恒例の北村功代表理事副会長の音頭で、協会三役と杉原健司氏が登壇、闘魂の「ダァーッ」で締めとなりました。

立春にふさわしい新年会となりました。

